

# 学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



西門入口  
のヒガン  
バナ

## ☆☆☆ 運動会お世話になりました ☆☆☆

9/1(金)は、84名の子供たちの明るい笑顔が学校に戻ってきました。1人の事故やけががなく元気に夏休みを過ごせたことを、何よりうれしく思います。前期後半の始まりの全校集会を開きました。まず、2年生の館野美咲さんと4年生の海老原気吹さんの作文発表です。これから頑張りたいことや努力への決意の表れた立派な発表でした。次に、校長講話を行いました。1つ目は、「夏休み全校宿題」の話です。「読書3冊」「毎日お手伝い」「料理」は実践できたでしょうか？2つ目は、「はきものをそろえる」という詩を紹介し、「脚下照顧」という言葉や「吉東小の合言葉」について話しました。

さて、16日(土)には、運動会を開催しました。今年も、9月上旬から暑くなり熱中症などが心配でした。暑さや雨対策など、練習時間の確保に苦慮しました。

当日は今年のスローガン『輝け！勝利の汗 魅せろ！ぼくらの団結力』のとおり、子供たちは最後まで頑張り抜きました。特に18名の6年生は、小学校最後の運動会として自分の演技の他にも係活動や開会式などの代表として立派に務めることができ、大きな拍手をいただきました。きっと一人一人の心の中に忘れられない感動、そしてこれからの自信につながると思います。

保護者や地域の皆様には、最後の演技まで温かい御声援をいただき、また、PTA種目への参加や準備・後片付けなどの御協力を賜り、誠にありがとうございました。

まもなく前期が終わり10/10(火)からは後期が始まります。運動会のように、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、御支援御協力の程よろしくお願いたします。



7月24日(月) 栃木市総合運動公園において、下野市陸上記録会が開催されました。



4・5・6年生の代表の子供たちは、100m走や走り幅跳び、ソフトボール投げなどに出場し、自己ベストを目指して練習の成果を発揮しました。送迎や応援、ありがとうございました。

- ・海老原智陽さん 1000メートル1位
- ・海老原耶々さん 800メートル1位
- ・高橋洋介さん 走り幅跳び3位
- ・笠倉祐太さん 100メートル5位
- ・男子リレー 5位

夏休み前半の3日間、地域のボランティアの方たち7名の講師による、各コースごとの学習相談が開催されました。

今年は「理科研究」「ポスター」「夏休みの友」「下野書道」の4つのコースに、55名の児童が参加しました。どのコースでも真剣に取り組む姿が見られ、立派でした。保護者の皆様には、送迎の御都合を付



けていただき、ありがとうございました。子供たちの伸びる力とともに支援していきましょう。

8/26(土)、親子奉仕作業を行いました。保護者56名、児童64名の参加でした。お父さん、お母さんのお二人で参加してくださった方も9組ほどいました。とても助かりました。除草ボランティアの上野さん、小室さんにも手伝っていただきました。

お父さんたちは運動会で使うテントを立てた後、樹木伐採や除草。お母さんたちは除草や枝運び。校庭や花壇、畑などをみんなできれいにしました。子供たちもともにがんばって、除草や枝運びをしました。学校がとてもきれいになりました。今年度2回目の御協力

に感謝いたします。ありがとうございました。





# 感動の運動会をありがとう



16日(土)の運動会は、赤組656点、白組663点で久しぶりの白組優勝という、最後まではらはらどきどきさせる展開となりました。「全員リレー」ではどのチームも1本のバトンを上手に渡し、全校生84名が一丸となって走り抜きました。最後まであきらめず全力で走る姿に胸が熱くなりました。

また「吉東ソーラン・組体操」では、3~6年生による「組体操」、1~6年生による「吉東ソーラン」、どれも成功し力強い演技でした。今までの練習の成果を見事発揮することができ、すばらしかったです。

「高齢者へのメッセージ」でも、敬老席での肩たたきを取り入れて、子供たちはふれあい班ごとに、高齢者とのふれあいのひとときを過ごしました。

7/12(水)に2年生が「命のお話」の授業を行いました。市の看護師や助産師、保健師の市民団体「えがおのたまご」の皆様が、毎年授業を実施してくださっています。人形劇や紙芝居、産道体験などを通して、命の大切さや自分を大切にすることについて学びました。授業参観の日でもありましたので、命について親子でともに考えることができました。誕生したときや今ある命について、感激や温かさを感じる事ができたと思います。



7/12(水)は授業参観・PTA研修会と学校評議員会を実施しました。



研修会では、下野市教育委員会 岡本直美先生から「学力向上」について分かりやすい講話をいただきました。

「おうちの方はお子さんの最大のサポーター」「生活のリズムを整える」「学習計画を立てて実行することが、自主性を伸ばす」「学ぶ雰囲気づくり」「努力を認め励ます」など、日頃の家庭学習やお子さんとの関わり方を見直す事ができたと思います。

学力向上には、「授業の充実と毎日の家庭学習の積み重ね」が欠かせません。「自ら学び、考える」子供をともに育てていきましょう。

## 学校評議員会とは？

目的は、「地域とともにある学校づくり」の推進のため、保護者や地域住民の意向を反映し協力を得たり、学校の説明責任を果たしたりすることです。

今年度は、伊澤行雄様、小室佳子様、伊澤美智江様、甲田誠様に学校評議員をお願いしました。今回の評議員会では授業参観後、学校経営の説明と感想や意見交換をしました。授業参観での児童の机配置や保護者参加型授業など教員の工夫が見られる、児童の「書く」

姿勢が悪く視力低下が心配、などの意見をいただきました。今後も、学校行事に御来校いただき、子供たちの活動の様子を見ていただきます。

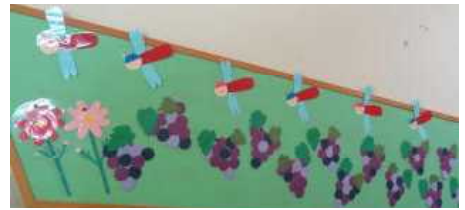


# 学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



図書室  
掲示物



## ☆ 授業参観・PTA 研修会 保護者の皆様より 感想ありがとうございます ☆

- 7月12日に初めての「自由参観」「全校道徳授業参観」、2回目の「PTA 研修会」を実施したところ、11名の方から感想をいただきました。ありがとうございました。一部、御紹介させていただきます。
- ・4校時の自由参観では、子供たちの普段の姿が見られて、良かったです。意外と見に来る保護者が少なく、驚きました。道徳の授業は、間違いがなく、親も考えさせられる内容で親子で学ぶ機会となりました。
  - ・研修会でも、元 吉東小の先生ということで分かりやすく、実際に問題を解いて参考になりました。
  - ・道徳は自分なりの考えを発言できるので、いろいろな意見が出てきておもしろかったです。研修会は、親も学ぶことができる内容で良かったです。少し時間が長いかな。
  - ・道徳授業では、他教科では見られない子供の心の動きや感想が聞けて、新鮮でした。研修会も、親として反省し、子供ともっと話をしなければいけないと思いました。
  - ・道徳授業では、日頃忘れがちな「感謝」について皆で話し合うことができ、良かったです。学力向上の話も、内容の濃い話で分かりやすく、とても良かったです。
- 今後の参考にさせていただきます。これからも御支援御協力をよろしくお願いいたします。



## ☆ がんばった夏休み全校宿題 ☆

夏休み前に学校として取り組む「全校宿題」を出しました。42日間の夏休みを充実させ、家族の一員として働く子になってほしいからです。御協力ありがとうございました。感想などを紹介します。

- ①読書3冊以上…多様なジャンルの読書
- ②手伝い…お風呂・皿洗い・靴揃え・水やり・洗濯物たたみ
  - ・毎日靴そろえをやるのは大変でした。でも、玄関がきれいになりました。(1年Y・U)
  - ・葉っぱ掃除をしてきれいになった。じいじが「おかげできれいになったよ。」と褒めてくれてうれしかった。お手伝いすると、みんなが助かるんだね。(1年K・S)
  - ・なすの袋詰めを75個やり、疲れました。みんなが「ありがとう。」と言ってくれたので、うれしくなりました。(4年U・K)
- ③料理…カレー・餃子・目玉焼き・野菜炒め
  - ・「タコライス」を作りました。弟と妹がおいしいと食べてくれて、ほっとしました。(4年T・O)
  - ・餃子の皮を包みました。とめるところが難しかったけど、慣れて上手になりました。(5年T・A)
  - ・ピザ生地を薄くのばすことができるようになった。野菜も甘くなっておいしい。(6年I・N)

7/3日(月) 1年生が、栄養教諭の渡邊千咲先生と、野菜に関する食育の授業を行いました。アンケートをもとに好きな野菜や嫌いな野菜を発表し、今日の給食に使われている野菜について学びました。そして、野菜の役割や大切さなどの話を聞きました。苦手な野菜も、これからはがんばれそうです。



7/7(金)は七夕でした。子供たちは、笹竹に、願い事を書いた短冊や、折り紙などで作った飾りを竹に取り付けました。ホールに飾られた笹竹が、にぎやかに立派になりました。みんなの願いがいつの日か叶いますように。稲見勇さんから、毎年笹竹をいただいています。ありがとうございます。



8/1(火)南河内中学区合同研修会を行いました。薬小・吉西小・吉東小・南河内中の教職員が集まり、毎年行われている研修会です。下野市では、中学校区ごとに「小中連携一貫教育」を進めています。南河内中学区では、「義務教育学校設立への小中学校での取組」について、小山市教育委員会学校教育課長 金森宏様より講話をいただき、部会別協議を行いました。「義務教育学校設立」に向けて準備を進めています。

1年生の国語「ひらがなあつまれ」では、「しりとり」を通して言葉集めを楽しんでいました。4月の頃、平仮名を読むのも精一杯だった子も、今では本読みや文章を書くことに大分慣れてきました。毎日読んだり書いたり積み重ねの成果です。「読み・書き・計算」は学習の基本です。今後も「家庭学習4か条」を守って、基本的な学習が身に付くよう、励ましの声掛けや音読カード、ノートなどの確認をお願いします。



本校では、毎年12月「学校評価保護者アンケート」を保護者の皆様をお願いしています。本校教育のより一層の充実のため、教育活動などについて御回答いただくものです。くわしい評価内容については、先日配付させていただいた、「学校評価保護者アンケート協力依頼」を御覧ください。その一部を掲載します。御協力をお願いします。

## 学校評価保護者用アンケート

評価欄の当てはまる記号に丸を付けてください。

Aはい Bまあまあそうである

Cあまりそうではない Dいいえ

- 1 子供は友達と仲良く過ごしている。
- 2 子供は相手の立場に立って、思いやりのある行動がとれる。
- 3 子供は自分と異なる意見や立場を尊重することができる。
- 4 子供はよく本を読んでいる。
- 5 子供は「学習することが楽しい」ようだ。
- 6 子供は自分の意見をしっかりと伝えることができる。

## ☆☆『特別支援教育』って？ No4 ～発達障害とは～☆☆

発達障害とは、生まれつきの脳機能の発達のアンバランスさ・凸凹（でこぼこ）と、その人が過ごす環境や周囲の人との関わりのミスマッチから、社会生活に困難が発生する障害のことです。人間誰しも、得意なことと不得意なことがあります。その中でも発達障害のある人は、得意なことと不得意なことの差が非常に大きかったり、他の多くの人と比べて違った物事の感じ方や考え方をしたりすることが多くあります。そのため、勉強や仕事の理解や進め方、注意の集中や持続の偏り、対人関係でのすれ違いをきたしやすいのです。

発達障害を理解する上での難しさは、その障害が見た目からは分かりにくいことにあります。本人は悪気がなく行動したつもりでも、「衝動的でわがままだ。」「人の話を聞かない変わった人だ。」などと誤解を受けたり、「本人の努力不足」や「親のしつけの問題」などと誤った解釈や批判を受けたりすることも少なくありません。

だからこそ、本人と周囲の人がお互いの違いを理解しながら、凸凹ゆえの困難さが起こりにくくなるような環境を調整し、本人の得意な行動や特性を生かした生き方ができるような支援が必要なのです。

### ☆☆ 受賞 おめでとうございます ☆☆

◎全国小学生陸上競技交流大会県予選 男子 1000メートル走 準優勝 6年 海老原智陽さん  
女子 1000メートル走 4位 6年 海老原耶々さん

◎東和ロードレース大会 女子2キロメートル 2位 6年 海老原耶々さん

◎下野ライオンズ杯争奪学童野球ナイター大会 準優勝 吉田東グランパス

お知らせ：「吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。学校行事や各学年の活動も随時配信しています。御意見、御感想など御連絡ください。

吉田東小 住所：下野市中川島7 電話番号：0285-48-5007

吉田東小 ホームページ アドレス：<http://school.shimotsuke.ed.jp>

※QRコードからアクセス

